



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
 コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長田 隆明  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5206-3316

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,694	6.9	747	△22.5	751	△34.9	328	△57.4
25年3月期第3四半期	24,041	3.4	964	△15.1	1,155	0.9	771	22.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 407百万円 (△46.6%) 25年3月期第3四半期 763百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.94	33.58
25年3月期第3四半期	79.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,083	9,289	53.5	944.33
25年3月期	15,286	8,945	58.4	922.67

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,139百万円 25年3月期 8,929百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	10.1	1,300	△11.2	1,300	△21.6	600	△42.3	61.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社環、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,640,200 株	25年3月期	10,640,200 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

26年3月期3Q	961,890 株	25年3月期	961,890 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	9,678,310 株	25年3月期3Q	9,678,342 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

				(百万円)	(円)
	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益	1株当たり 四半期 (当期) 純利益
平成26年3月期第3四半期累計	25,694	747	751	328	33.94
平成25年3月期第3四半期累計	24,041	964	1,155	771	79.70
増減率	6.9%	△22.5%	△34.9%	△57.4%	△57.4%
(参考) 平成25年3月期	32,703	1,463	1,658	1,040	107.53

当社の当第3四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における売上高は25,694百万円（前年同期比+6.9%）、営業利益747百万円（前年同期比△22.5%）、経常利益751百万円（前年同期比△34.9%）、四半期純利益328百万円（前年同期比△57.4%）となりました。

当第3四半期累計期間の業績に関する主な増減要因は、以下の通りです。

## (a) 売上高

売上高は25,694百万円となり、前年同期と比較して1,652百万円増加しました。

イービジネスサービスセグメントのECBPO事業、WEBマーケティング事業が減収となったものの、ソリューションセグメントのソフトバンクグループ向けのSI事業、及びソフトバンクグループ外企業向けのMicrosoftソリューション事業が大きく伸長し、増収となりました。また、当第2四半期からフロントワークス株式会社、株式会社社環を新たな連結対象としており、416百万円の増収に寄与しております。

## (b) 限界利益

限界利益は5,258百万円となり、前年同期と比較して848百万円増加しました。また、限界利益率は20.5%となり、前年同期と比較して2.1ポイント向上しました。これは、当社の成長戦略推進の基盤として、エンジニアの積極採用と技術力向上を推進したことで、機器販売からエンジニアサービス提供へと事業の転換が進んだことによるものです。また、フロントワークス、環は、それぞれ自社のコンテンツ・サービスを提供しており、限界利益率の向上に寄与しました。

## (c) 固定費

固定費は4,511百万円となり、前年同期と比較して1,065百万円増加しました。

当社は、当社の中長期的な成長を実現させる基盤として、社員の積極採用を推進しております。当第3四半期末の連結従業員数は615名、前年同期と比較して147名増加しました。増員に伴う採用費や人件費、オフィス増床に伴う家賃等の増加、及び高度技術資格取得奨励策による教育費などが主な要因です。

## (d) 営業利益

(a)～(c)の結果、営業利益は747百万円となり、前年同期と比較して217百万円減少しました。

## (e) 営業外損益

営業外損益は4百万円の黒字となり、前年同期と比較して186百万円減少しました。

これは、前年同期に計上していた持分法適用関連会社の持分譲渡に伴う一過性の受取配当金186百万円の影響が剥落したことによるものです。

## (f) 特別損益

特別損益は125百万円の赤字となり、前年同期と比較して95百万円悪化しました。

これは平成26年2月に予定している本社移転に伴い119百万円の特別損失を計上したためです。

## (g) 法人税等

法人税等の合計は293百万円となりました。

## (h) 四半期純利益

(e)～(g)の結果、四半期純利益は328百万円となり、前年同期と比較して442百万円減少しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

平成26年1月23日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しましたが、この度の修正は当第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日～平成25年12月31日）の業績に起因しておりますので、セグメントの業績を四半期会計期間で説明します。

## (イービジネスサービス事業)

(百万円)

	第3四半期会計期間				第3四半期累計期間			
	平成25年 3月期 (H24.10.1 ～12.31)	平成26年 3月期 (H25.10.1 ～12.31)	増減	増減率	平成25年 3月期 (H24.4.1 ～12.31)	平成26年 3月期 (H25.4.1 ～12.31)	増減	増減率
売上高	4,795	4,538	△257	△5.4%	13,768	13,507	△260	△1.9%
営業利益	255	110	△145	△56.8%	614	455	△158	△25.8%

当第3四半期（平成25年10月1日～平成25年12月31日）における、イービジネスサービスセグメントの売上高は4,538百万円となり、前年同期と比較して257百万円（5.4%）減少しました。また、営業利益は110百万円となり、前年同期と比較して145百万円（56.8%）減少しました。

これは、本セグメントの主力事業であるシマンテックストア事業の第3四半期（平成25年10月1日～平成25年12月31日）の売上高が3,956百万円となり、前年同期比で323百万円（7.6%）減少したことが主な要因です。国内向けセキュリティソフト販売において販売単価が下落したことで減収となりました。売上高の減少に伴い、人員の配置転換など固定費コントロールを進めましたが、減収の影響を補えず減益となりました。

## (ソリューション事業)

(百万円)

	第3四半期会計期間				第3四半期累計期間			
	平成25年 3月期 (H24.10.1 ～12.31)	平成26年 3月期 (H25.10.1 ～12.31)	増減	増減率	平成25年 3月期 (H24.4.1 ～12.31)	平成26年 3月期 (H25.4.1 ～12.31)	増減	増減率
売上高	3,164	4,869	1,705	53.9%	10,273	12,186	1,913	18.6%
営業利益	19	66	46	240.2%	350	291	△58	△16.8%

当第3四半期（平成25年10月1日～平成25年12月31日）における、ソリューションセグメントの売上高は4,869百万円となり、前年同期と比較して1,705百万円（53.9%）増加しました。また、営業利益は66百万円となり、前年同期と比較して46百万円（240.2%）増加しました。

これは、当社の成長戦略を推進する中で、社員の積極採用と技術力向上策を進めてきた結果、ソフトバンクグループ企業向けのSI事業が大きく伸ばしたことによるものです。従来からの流通事業に加えて、通信事業の支援案件が増加した結果、売上高は3,235百万円となり、前年同期に比べて1,249百万円（62.9%）増加しました。また、ソフトバンクグループ以外の企業向けビジネスにおいてもSI事業に加え、Microsoftソリューション事業等が好調に推移し、売上高は1,634百万円、前年同期と比較して455百万円（38.6%）増加しました。

売上高の増加及び利益率向上によって限界利益が増加したことで、中長期的な成長に向けた社員の積極採用や技術資格取得の推進等による固定費の増加等をこなし、営業利益は増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期第3四半期	(参考) 平成25年3月期第3四半期
総資産	15,286	17,083	14,642
純資産	8,945	9,289	8,663
自己資本比率	58.4%	53.5%	59.1%

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,796百万円増加して17,083百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末より866百万円減少しました。

固定資産は、子会社株式取得に伴うのれん、顧客関連資産の増加などにより、前連結会計年度末より2,662百万円増加しました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より1,452百万円増加して7,793百万円となりました。

流動負債は、買掛金等の増加などにより、前連結会計年度末より894百万円増加しました。

固定負債は、子会社株式取得に伴う社債、繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末より558百万円増加しました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金や少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末より343百万円増加して9,289百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月24日に公表した平成26年3月期の連結業績予想を、平成26年1月23日に修正しました。

詳細につきましては、平成26年1月23日に発表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社環の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、フロントワークス株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,209,901	2,203,433
受取手形及び売掛金	5,051,203	5,846,603
有価証券	99,900	—
商品	28,718	126,273
仕掛品	149,179	372,575
短期貸付金	—	1,900,000
繰延税金資産	162,870	177,679
その他	561,379	752,336
貸倒引当金	△25,197	△7,254
流動資産合計	12,237,954	11,371,648
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	145,516	92,027
工具、器具及び備品（純額）	286,435	290,230
建設仮勘定	—	112,449
有形固定資産合計	431,951	494,707
無形固定資産		
のれん	—	988,789
ソフトウェア	642,503	680,103
ソフトウェア仮勘定	41,949	200,078
顧客関連資産	—	734,440
その他	11,787	13,178
無形固定資産合計	696,240	2,616,590
投資その他の資産		
投資有価証券	954,012	1,071,464
繰延税金資産	333,684	276,570
その他	632,918	1,311,089
貸倒引当金	—	△58,764
投資その他の資産合計	1,920,614	2,600,360
固定資産合計	3,048,806	5,711,658
資産合計	15,286,761	17,083,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,990,375	4,746,815
リース債務	33,723	36,665
未払金	467,542	645,198
未払法人税等	283,925	11,309
賞与引当金	302,616	161,391
役員賞与引当金	—	45,942
受注損失引当金	3,943	2,355
資産除去債務	—	56,006
その他	794,655	1,065,646
流動負債合計	5,876,781	6,771,331
固定負債		
社債	—	200,000
リース債務	26,779	8,096
繰延税金負債	—	188,580
長期前受金	358,803	350,739
負ののれん	4,480	1,792
退職給付引当金	—	49,164
資産除去債務	74,046	37,376
その他	—	186,647
固定負債合計	464,110	1,022,395
負債合計	6,340,891	7,793,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	8,286,159	8,421,107
自己株式	△747,634	△747,634
株主資本合計	8,885,285	9,020,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,159	117,370
為替換算調整勘定	434	1,893
その他の包括利益累計額合計	44,594	119,264
新株予約権	15,990	39,595
少数株主持分	—	110,486
純資産合計	8,945,869	9,289,579
負債純資産合計	15,286,761	17,083,306



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	24,041,947	25,694,922
売上原価	21,641,424	22,943,649
売上総利益	2,400,522	2,751,272
販売費及び一般管理費	1,435,812	2,003,983
営業利益	964,709	747,288
営業外収益		
受取利息	22,325	6,272
受取配当金	189,693	5,740
雑収入	12,199	11,372
営業外収益合計	224,218	23,384
営業外費用		
支払利息	2,050	2,361
投資事業組合運用損 為替差損	7,701	—
支払手数料	24,079	3,000
雑損失	3	4,414
営業外費用合計	33,834	19,153
経常利益	1,155,093	751,520
特別利益		
固定資産売却益	456	—
特別利益合計	456	—
特別損失		
投資有価証券評価損	21,706	—
減損損失	8,581	6,131
本社移転費用	—	119,170
特別損失合計	30,287	125,301
税金等調整前四半期純利益	1,125,261	626,218
法人税、住民税及び事業税	268,552	254,354
法人税等調整額	85,361	38,975
法人税等合計	353,913	293,330
少数株主損益調整前四半期純利益	771,348	332,888
少数株主利益	—	4,373
四半期純利益	771,348	328,514
少数株主利益	—	4,373
少数株主損益調整前四半期純利益	771,348	332,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金 為替換算調整勘定	△8,248	73,211
その他の包括利益合計	44	1,459
その他の包括利益合計	△8,203	74,670
四半期包括利益	763,144	407,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763,144	403,184
少数株主に係る四半期包括利益	—	4,373

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

平成26年2月の本社移転に伴い、利用が見込めなくなった資産に関する減損損失及び原状回復期間にかかるオフィス賃料を、特別損失の本社移転費用として119,170千円計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	イービジネスサービス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	13,768,206	10,273,740	24,041,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	13,768,206	10,273,740	24,041,947
セグメント利益	614,162	350,546	964,709

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	イービジネスサービス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	13,507,997	12,186,924	25,694,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	13,507,997	12,186,924	25,694,922
セグメント利益	455,559	291,729	747,288

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。